

# 支店長

四国勤務は初めて。「公共工事に依存する割合が他の地域に比べて高く、その中で生き残っていくためには、安全第一で、環境に配慮し、法令を順守し、確かな品質で規格に合ったものを完成させる。それに尽きる」とCSR（企業の社会的責任）の重要性を強調する。

公共工事で受注を伸ばすためには、総合評価への対応が不可欠。「技術提案はもちろ

## コミュニケーションを密に



んのこと、企業や技術者の評価を上げなければならぬ。そのためには受注した工事で表彰を受けられるようバックアップしていきたい」。

74年の入社以降、関東と九州を中心に勤務。高速道路の建設の規模が大きくてやりがいもあったという。「当時は一つの現場に20人ぐらいの社員が配置された。お互いに切磋琢磨（せつたくくま）させてきた。技術者としての誇りがある」と振り返る。

四国支店は規模が小さく社員数も少ない。「社員間のコミュニケーションを密にしてチームワークを良くし、一人で何役もこなせるような支店づくりを進めていかなければならない」。

最近、特に体に気を使うようになった。「健康でなければ人に迷惑を掛ける。自己管理しかない」。趣味は特になが、これから見つけていきたいという。ゴルフはしばらく休んでいたが、環境に恵まれている四国で「また始めようかな」と考えている。

NIPPON四国支店長 高橋 龍吉氏  
（4月1日就任、福岡大学工学部土木工学科卒、福岡県出身、60歳）